

白老町都市計画マスタープラン策定に係る  
「地区町内会連合会長ヒアリング」

【結果報告書】

令和3年12月

白老町  
政策推進課都市企画グループ

## 地区町内会連合会長ヒアリング概要

### ■ 実施目的

第2次都市計画マスタープランの地域別方針を策定するにあたり、地域のことを熟知する町内会長等を対象に、地域の現状や課題、今後の地域づくりの方向性に対する意見を聴取し、新計画に反映させることを目的とする。

### ■ 実施期間

令和3年11月22日（月）～令和3年12月8日（水）

### ■ ヒアリング方法

町内会連合会長宅等を個別訪問し、地域別構想（素案）に対して意見交換を行う  
※ 本年11月に開催予定であった地区別懇談会が、コロナウイルス感染症のまん延防止により中止となったことからヒアリング形式で地域の声を聴取する

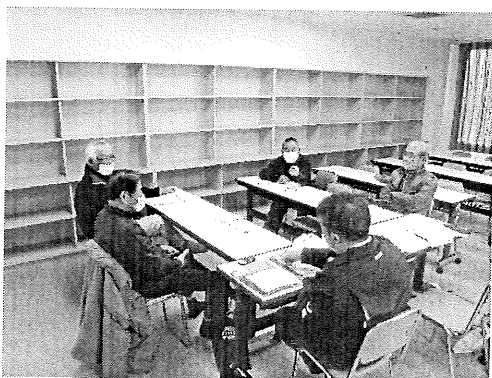
### ■ ヒアリング対象

地区町内会連合会長 18名（別紙のとおり）

### ■ 対応者

政策推進課都市企画グループ、町内会連合会事務局

### ■ ヒアリング風景



白老町都市計画マスタープラン策定に係る  
地区町内会連合会長ヒアリング対象者一覧

| 地区名      | 会長名   | 地区町内会連合会       | 地区名      | 会長名   | 地区町内会連合会       |
|----------|-------|----------------|----------|-------|----------------|
| 1 社台     | 仙田 公昭 | 社台 地区町内会連合会    | 11 白老・森野 | 秋葉 忠孝 | 美園団地 地区町内会連合会  |
| 2 白老・森野  | 山口 和雄 | 大町第1 地区町内会連合会  | 12 石山・萩野 | 前田 弘幹 | 石山 地区町内会連合会    |
| 3 白老・森野  | 外館 博文 | 大町第2 地区町内会連合会  | 13 石山・萩野 | 三河 伸雄 | 萩野第1 地区町内会連合会  |
| 4 白老・森野  | 白崎 浩司 | 東町 地区町内会連合会    | 14 石山・萩野 | 桜庭 協一 | 萩野第2 地区町内会連合会  |
| 5 白老・森野  | 武田 信昭 | 日の出 地区町内会連合会   | 15 北吉原   | 福澤 孝宏 | 北吉原本町 地区町内会連合会 |
| 6 白老・森野  | 山丸 和幸 | 高砂・浜町 地区町内会連合会 | 16 北吉原   | 五十嵐昌道 | 北吉原第2 地区町内会連合会 |
| 7 白老・森野  | 西田 祐子 | 宮前 地区町内会連合会    | 17 竹浦    | 高橋 征治 | 竹浦 地区町内会連合会    |
| 8 白老・森野  | 遠藤 勝寛 | 栄町 地区町内会連合会    | 18 虎杖浜   | 桔梗原安雄 | 虎杖浜 地区町内会連合会   |
| 9 白老・森野  | 石川 智  | 末広 地区町内会連合会    |          |       |                |
| 10 白老・森野 | 桑田 正博 | 緑丘 地区町内会連合会    |          |       |                |

## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|  |                    |
|--|--------------------|
| ヒアリング実施日   | 令和3年11月26日(金)      |
| ヒアリング地区  | 社台地区               |
| テーマ  | 社台地区の地域別構想(素案)について |
| <p>&lt;ヒアリング要旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域の概況・特性、地域づくりの方針等について異論はない。</li><li>○ 概ね素案どおりのまちづくりを進めていただきたい。</li><li>○ 公共施設、空き地・空家の有効活用や少子高齢化対策が必要である。</li><li>○ 地域資源をフルに活用した政策展開を望む。</li><li>○ 豊かな自然や牧歌的な風景を活かしながら、農業・観光振興等を進めてほしい。</li><li>○ 津波等の災害対策を進めてほしい。</li></ul>                  |                    |
| <p>&lt;地域の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ この地域は豊かな自然と牧歌的な風景が強みであり、これらを活かした地域づくりが望まれている。また、自然環境の保全に努め、将来世代に継承していくことも大切である。</li><li>○ 地域としての課題は少子高齢化の進行である。近年、空き地・空家等が増え、地域の活気が失われている。豊かな自然環境を観光資源化し、交流人口の促進を図っていくことが求められている。</li><li>○ 地域の安全安心を守るためにも、津波や高潮、高波等の災害対策をしっかりと進めてほしい。</li></ul> |                    |

## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|   |  |
|---|--|
| ヒアリング実施日  | 令和3年11月22日(月)、11月25日(木)、11月26日(金)、<br>11月29日(月)、12月8日(水) |
| ヒアリング地区   | 白老・森野地区  |
| テーマ   | 白老・森野地区の地域別構想(素案)について                                    |
| <p>&lt;ヒアリング要旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の概況・特性、地域づくりの方針等について異論はない。</li> <li>○ 将来の目指す姿は理解するが、実際まちがどう変わっていくのか、計画実現に向けた具体策や方策が見えないのでイメージがわからない。</li> <li>○ 各集落をつぶして白老地区に一つにまとめるというのは難しいが、用途地域の区域見直しで各地区に居住区域を限定することはできると思うし、人口減少社会においてコンパクトなまちづくりの推進は良いことだと思う。</li> <li>○ 10年後・20年後を見据え、限られた財源の中でまちを維持していくためには、都市機能や居住誘導地区を全て白老地区に集約すべきである。</li> <li>○ 現在、公共施設の統廃合を進めていると思うが、今後も人口減、税収減により維持管理が厳しくなると思うので更に進めていくべき。</li> <li>○ 町の政策として何事も縮小というのは町民からの反対の声が多くなるが、人口減や税収減に伴って、やはり縮小していかなければならないのが事実。こういう政策を打たざるを得ないということを地域に何回も説明しながら、足を運び、理解してもらえないと思う。</li> <li>○ 居住区域を設定してそこに集約したとしても、元々居住区域外に住んでいる住民はそこに残ることになるので、その人たちを無視しない公共交通の仕組みは大事である。</li> <li>○ 白老地区以外の高齢者は将来的に車等、足がなくなったときに白老地区の公住に入りたいという話も聞いている。ただ、住宅を所有していると公住に入れない。10年以上先を見据えて、住宅を所有していても公住に入れるような仕組みや工夫が必要ではないか。</li> <li>○ 駅北周辺の土地利用のあり方については記載のとおりで、これが実現すると町が変わる。</li> <li>○ 駅北だけではなく、大町商店街にも観光誘客できる仕組みづくりを望む。</li> <li>○ 空家や空き地が増えているが、それらの管理を住民が担うのは現実的に難しいしできない。町として空家や空き地対策をしっかりとやってほしい。</li> <li>○ プランができた後が重要であり、この計画をどれだけ具体的に推進するかが重要である。</li> </ul> |  |
| <p>&lt;地域の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この地域は、白老町の中心地であり、交通の便が良く、様々な都市機能が集まり、生活利便性の高い地域である。また、アイヌ文化の発信拠点であるウポポイが立地しており、今後、町内外から多くの来訪者が期待されている。</li> <li>○ 一方、急速な人口減少を背景に、中心市街地の低密度化が進み、空き地や空家等の増加が課題となっている。加えて、地域の子どもの数が減少し、まちの元気が失われつつある。</li> <li>○ 今後においては、まちの元気を取り戻すため、都市機能や居住の集約化、公共施設の適正配置等を進め、住環境の更なる向上を図る必要がある。また、ウポポイを起爆剤とした観光振興により、交流人口・関係人口の創出・拡大を図っていくことも大切である。</li> <li>○ 安全安心なまちづくりを進めるため、津波をはじめとした海の災害に対する対策が求められている。</li> </ul>  |  |

## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|  |                                  |
|--|----------------------------------|
| ヒアリング実施日   | 令和3年11月24日（水）、11月25日（木）、12月8日（水） |
| ヒアリング地区  | 萩野・石山地区                          |
| テーマ  | 萩野・石山地区の地域別構想(素案)について            |
| <p>&lt;ヒアリング要旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の概況・特性、地域づくりの方針等について異論はない。</li> <li>○ 地域の弱みとして「高齢化が進み、空き地・空家が多くなっている」とあるが、逆に人を呼び込むための強みだと思っている。</li> <li>○ 各地域で集落を一つにまとめることは必要だと思う。</li> <li>○ いくら地域を集約しても商店は出来ないと思っている。町が助成して（コープのカケルみたいな）移動販売車でもやったらどうか。</li> <li>○ 萩野・北吉原地区には買い物できる店がない。町で助成するなどして呼び込んでほしい。</li> <li>○ バスの時刻表が複雑で難しすぎる。それが理由で利用しないと言っている町民もいる。</li> <li>○ バスの便が少ない。病院とウポポイがメインとなっているが、買い物のためにも使えるようにする（日曜も含めて1日の中でどの時間帯でも買い物へ行ける環境）など、もっと裾野を広げられないか。もっとバスの利用価値を考えるべき。</li> <li>○ 工業団地をもっと重要な位置付けで考えて、街灯整備然り、草刈り然り、しっかりと対応していただきたい。</li> <li>○ 観光客がウポポイ観光だけで素通りされないような観光施策が必要だと思う。</li> <li>○ 移住定住のためのアピールや施策が足りなさすぎる。</li> <li>○ 空き家対策は町でしっかり考える必要がある。</li> <li>○ 町職員にはもっと高齢者の元へ足を運んでいただき、どのようなことで困っているのか意見を聞いてもらいたい。</li> <li>○ 外国人が転入してきた際には、町内会長に情報が入るような仕組みを考えていただきたい。</li> <li>○ 津波然り川の氾濫然り水害のある地域であり、高齢者も多く山に避難するのも不可能。避難タワーの設置は必須である。</li> </ul> |                                  |
| <p>&lt;地域の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この地域は白老港や工業団地が立地しており、まちの産業・流通の拠点である。萩の里自然公園やウヨロ川などの環境資源にも恵まれ、温泉付き住宅地もあるなど、産業と居住環境、自然環境のバランスが取れた地域である。</li> <li>○ 少子高齢化等の進展により、空き地、空家が増加傾向にある。特に開発された温泉付き宅地等でその傾向は顕著である。</li> <li>○ 地域商店や幹線道路沿いの大規模商店等が閉店し、買物環境が悪化している。</li> <li>○ 工業団地の効率的な利用や整備により、企業立地の促進が求められている。</li> <li>○ 豊かな自然環境の保全や活用を図り、地域の魅力を高めることも大切である。</li> <li>○ 温泉付き住宅など魅力的な居住環境は、移住や二地域居住の受け皿として期待できる。</li> <li>○ まちの安全安心のためにも、津波等の海の災害や河川氾濫等の対策をしっかりと進めてほしい。</li> </ul>  |                                  |

## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|  |                     |
|--|---------------------|
| ヒアリング実施日   | 令和3年11月24日(水)       |
| ヒアリング地区  | 北吉原地区               |
| テーマ  | 北吉原地区の地域別構想(素案)について |
| <p>&lt;ヒアリング要旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の概況・特性、地域づくりの方針等について異論はないので、記載の通り進めてほしい。</li> <li>○ 全てを白老地区へ集約すると各地域が一気に廃れるので、各地域拠点を設定するのはいいと思う。</li> <li>○ まちの情勢は短期間で変化があるため、10年スパンでの計画見直しでは遅いと思う。現状を見定めて3~5年スパンでの見直しが必要だと思う。</li> <li>○ 人口減少を食い止める施策や子育て世代に定住してもらえる施策が重要である。</li> <li>○ 白老は少雪、自然が豊か、温泉付住宅がある、若年層移住者への補助制度がある等、アピールができるものがたくさんあるので、町としてもっとアピールして、移住者を呼び込んでほしい。</li> <li>○ 地元での就職が少なく子供たちが離れていくことで、後継者がいなくなり、空家や放置された家が目立ち始めている。今後も更にこの傾向が強まっていく。</li> <li>○ 空家をうまく活用することが移住者獲得には重要な要素である。移住者への家賃補助制度の拡充や温泉付き住宅の魅力PR、使用できる空家の情報発信、使用できそうな空家の情報収集など、人を呼び込むための方策を考えていただきたい。</li> </ul> |                     |
| <p>&lt;地域の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この地域は、温泉付き宅地が郊外にあり、別荘や移住者が多い。また、大規模工場の進出により、まちの製造業の拠点となり発展してきた経緯がある。</li> <li>○ 少子高齢化等の進展により、空き地、空家等が増加傾向にある。特に開発された温泉付き宅地や既存商店街でその傾向が顕著である。また、地域や幹線道路沿いの商店が閉店し、買物環境が悪化している。</li> <li>○ 本町の主要産業である製造業が発展し、活力あふれる地域となることが望まれるほか、温泉付き住宅など魅力的な居住環境を活かした移住や二地域居住などの推進が求められている。</li> <li>○ 地域の安全安心を守るには、津波や高潮、高波等の災害対策が求められる。</li> </ul>   |                     |

## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|   |                    |
|---|--------------------|
| ヒアリング実施日  | 令和3年11月24日(水)      |
| ヒアリング地区   | 竹浦地区               |
| テーマ   | 竹浦地区の地域別構想(素案)について |
| <p>&lt;ヒアリング要旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の概況・特性、地域づくりの方針等について異論はないので、記載の通り進めてほしい。</li> <li>○ 居住誘導区域を定めるといっても、どこを中心とするのかが大事であり、そこは入念に考える必要がある。</li> <li>○ 竹浦小の全校生徒は現在29人で、今後統廃合は避けられないと思う。このことから、例えば学校周辺に人を集めるといっても難しいのではないか。</li> <li>○ 旧竹浦小は利用価値があるので、跡地利用についてしっかり考える必要がある。ただ、町として跡地利用について考えている形跡が全く見えない。グラウンドの草刈りも要望した際はやっていたが、その後は放置されているし、倒木も放置されている。現状の見た目から購入を希望する人はいないと思う。町内会に協力を依頼してでも対処していく必要がある。</li> <li>○ 現竹浦小が廃校になった際にも同じく跡地利用の課題が出てくるが、例えば、町立の温泉を作ったり、町民の憩いの場としての施設とするなど、公共施設としての利用を考えてもいいのではないか。</li> <li>○ 竹浦地区は温泉もあり、魅力ある地域であるにもかかわらず、なかなか若い世代が入ってこない。</li> <li>○ 空家対策や移住者獲得にもつながるが、温泉付空家の存在をアピールすることで、住みたいと思う人もいるのではないか。</li> <li>○ 温泉を有効利用して、温泉の排熱利用を考えたらどうか。</li> <li>○ 飛生地区は白老の中でも稼いでいる地域であるので、道路整備などを考えてほしい。</li> <li>○ 飛生橋は老朽化や片側通行の危険性から、幅員を拡幅して架け替えてほしい。</li> </ul> |                    |
| <p>&lt;地域の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この地域は、温泉付きの民宿やドライブイン等の商業・観光施設が豊富にある。</li> <li>○ また、飛生アートコミュニティの芸術活動など、観光資源が充実していることから、これらを活かした地域づくりが望まれている。</li> <li>○ 少子高齢化等の進展により、空き地、空家等が増加傾向にある。また、地域商店が閉店するなど、生活利便性が低下している。</li> <li>○ 良質な温泉や地場産品、芸術活動などの地域資源を有効活用するとともに、国道沿線の温泉宿泊施設や商業施設等の活性化により、地域の活力と交流人口の増加を図ることが求められている。</li> <li>○ 海の災害、土砂災害や河川氾濫の対策をしっかりと進めてほしい。</li> </ul>  |                    |



## 地区町内会連合会長ヒアリングシート

|  |                     |
|--|---------------------|
| ヒアリング実施日   | 令和3年11月22日（月）       |
| ヒアリング地区  | 虎杖浜地区               |
| テーマ  | 虎杖浜地区の地域別構想(素案)について |
| <p>＜ヒアリング要旨＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の概要・特性、地域づくりの方針について異論はない。</li> <li>○ 虎杖浜・竹浦地区の町民の生活圏は登別市であり、買い物も病院も登別市に行っている。</li> <li>○ 人口減少が進んでいってもこの傾向は変わらない。特に公共交通は登別市への延伸を強く望む。</li> <li>○ 例えばプレミアム商品券があっても、登別市では使えないことから、虎杖浜地区の人は恩恵があまりない。白老のプレミアム商品券は登別市でも使用でき、逆に登別市のプレミアム商品券は白老でも使えるようにするなど、相互の協力体制の下、事業を行ってほしい。</li> </ul>  |                     |
| <p>＜地域の声＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この地域は、漁業と水産加工業が盛んな地域である。全国ブランドの虎杖浜タラコがあり、クッタラ湖の湧水など水資源にも恵まれている。</li> <li>○ 虎杖浜温泉として知名度が高く、アヨロ海岸などの景勝地を有するなど、地域特有の資源に恵まれた地域である。</li> <li>○ 少子高齢化等の進展により空き地、空家が増加傾向にある。また、幹線沿道や地域の商店が閉店し、買物環境が悪化している。</li> <li>○ 良質な温泉や地域特有の資源を活用し、地域を活性化していくことが大切である。</li> <li>○ 国道沿線の温泉宿泊施設や商業施設等の活性化により、地域の活力と交流人口の増加を図ることが求められている。</li> <li>○ 津波や高潮、高波等の海の災害や土砂災害等の対策が求められる。</li> </ul> |                     |